

過去のコメントへの対応状況

ハッチング・・・回答済、下線・・・追加・変更

ハッチング・・・2021年度第一四半期に回答を求めるもの

ハッチング・・・2021年度上半期に回答を求めるもの

ハッチング・・・東京電力が2021年度上半期以内での回答が困難としているもの

1. 液状の放射性物質に関するコメントへの対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答
建屋滞留水の処理	2020 年度ではサブドレン水位がかなり低下している状態でもサブプレッションチェンバ内包水流出時に水位逆転させないようにすること（第 69 回）	第 78 回、第 84 回会合にて回答
	3 号機サブプレッションチェンバ内滞留水の漏えいリスクについて、サブドレン水位を低下させた場合の評価及び対応について検討すること（第 78 回）	第 84 回会合にて回答
	プロセス主建屋地下階のゼオライト土のう処理等の安定化に関する方策と水位低下時における外部への線量影響評価の結果を説明すること（第 75 回）	第 76,78,87 回会合にて回答
	2020 年末にタービン建屋等の建屋のドライアップ後の工程及び汚染水発生量の低減に係る工程についても、工程表に示すこと（第 80 回）	未回答
	滞留水中の高濃度 α 核種への対応について説明すること（第 74 回）	第 77 回、第 88 回会合にて回答（継続）
	建屋内スラッジへの対応について、検討すること（第 78 回）	第 86 回会合にて回答（継続）
	プロセス主建屋等の地下階にあるゼオライト土嚢撤去に係る技術的な課題及び対応方法について説明すること（第 87 回）	未回答
	プロセス主建屋等の地下階にあるゼオライト土嚢撤去の着手時期について示すこと（第 87 回）	第 88 回会合にて回答
	PCV 内から取水した水の α 核種の濃度が上昇した際の対応方針について検討すること（第 84 回）	未回答
	3 号機サブプレッションチェンバの水位低下について、ステップ 1 からステップ 2 に移行していくまでの具体的な計画について説明すること（第 84 回）	未回答
3 号機サブプレッションチェンバの水位低下に向け	未回答	

	た計画について、炉注水停止試験の結果等も踏まえて検討すること（第 78 回）	
	3 号機サプレッションチェンバ内包水の移送方法を示すこと（第 69 回、第 71 回）	第 75 回会合にて回答
	3 号機の南東三角コーナーの水位低下の停滞について、何を検討しているか、いつまで、どういう状態まで様子を見るのか説明すること（第 71 回、第 72 回）	第 73 回会合にて回答
	4 号機タービン建屋滞留水の水位低下の前倒しを検討すること（第 74 回）	第 77 回会合にて回答
	3 号機サプレッションチェンバの耐震性向上のための水位低下策の完了時期を踏まえ、漏えい事象発生時の対応方法を検討し説明すること（第 75 回）	第 78 回会合にて回答
	将来的にサブドレン水位が海水位より低くなる場合を想定し、長期的に検討が必要な事項を説明すること	別途面談で対応
	<b>1 号機サプレッションチェンバの水位低下時期について具体的な計画を示すこと。（第 89 回）</b>	<b>未回答</b>
ALPS 処理済水の全 $\beta$ 値と主要 7 核種の合計値の乖離	ALPS 処理済水の分析について、告示濃度限度比への寄与の大きさも含めて、測定対象とする核種選定に係る全体的な方針を示すこと（第 79 回）	第 83 回会合にて回答
高濃度の地下水	2.5m 盤の地下に存在する高濃度の地下水への対応を検討すること（第 79 回）	T.P.2.5m 盤の環境改善にて対応
1/2 号排気筒ドレンサンプルピット内の汚染水	排気筒ドレンサンプルピット内部への汚染の供給源を今後特定し説明すること（第 81,82 回）	第 82 回会合にて回答（継続）
	排気筒から雨水がピットに流入することを防止するため、対策を検討すること（第 77 回）	第 80 回会合にて回答
	排気筒ドレンサンプルピットの具体的な調査内容を示すこと。（第 81 回）	別途面談にて対応
1/2 号機タービン建屋海側下部透水層におけるトリチウム検出	検出されたトリチウムが新たに建屋から漏れ出したものか監視を継続するとともに、網羅的・システムチックな測定を行うことを検討すること（第 70 回、第 77 回）	未回答
ALPS 処理済水の分析	ALPS 処理済水の分析においては、今後、測定における様々な過程で生じる不確かさを適切に検討し、	未回答

	考慮した上で評価を行うこと（第 85 回）	
--	-----------------------	--

2. 使用済燃料に関するコメントへの対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答
3号機 SFP からの燃料取り出し	変形燃料に対する安全対策等について示すこと（第 77 回）	第 80、84、87 回会合にて説明
	品質管理体制の強化について、実施した内容を説明すること（第 70 回）	第 76 回会合にて回答
	SFP ラック上のがれき撤去を早く進め、燃料ハンドルの全体的な変形状況を確認すること（第 71 回）	第 73 回会合にて回答
	燃料取扱機（FHM）からの作動流体漏洩事象について再発防止に向けて、視点を変えて深く点検方法及び点検項目を検討すること。（第 73 回）	第 74 回会合にて回答
	変形燃料の取り出しに向けた具体的な計画を説明すること。（第 73 回）	第 74 回会合にて回答
	瓦礫の衝突解析について、詳細を示すこと（第 80 回）	別途面談で対応
1号機 SFP からの燃料取り出し	大型カバーの設置について、荷重評価や遮蔽等の設計の概念について説明すること（第 78 回）	未回答
2号機 SFP からの燃料取り出し	オペフロの汚染密度分布調査について、汚染が遊離性であるか固着性であるのか見極められる調査方針を示すこと（第 71 回）	第 75 回会合にて回答
	オペレーティングフロアの遮へい設計については、線量調査の結果に基づき検討し説明すること（第 87 回会合）	未回答
	燃料取り出し設備等の調達管理について、3号機の燃料取り出し設備の事例を踏まえ改善、強化した点について説明すること（第 87 回会合）	未回答
	燃料取扱時の遮へい水深確保、汚染の閉じ込め等に係る設計上の考慮について説明すること（第 87 回会合）	別途面談にて対応
燃料デブリ取り出し	採取した試料を茨城県へ運搬する方法について説明すること（第 69 回）	別途面談にて対応

	核燃料物質の保障措置について示すこと(第 69 回)	継続して検討を実施
	デブリ取出し、構内輸送、保管までの計画の全体像を示すこと(第 85 回)	未回答
分析第 2 棟の設置	設計上前提となる条件を明確にした上で、臨界防止、閉じ込め等に係る設計上の考慮について説明すること(第 82 回)	第 85 回会合にて回答
	各設備の耐震重要度分類について、事故時の影響評価など分類に当たっての根拠を示すこと(第 82 回)	第 85 回会合にて回答
	保安管理に係る東京電力と JAEA との間での責任関係及び役割分担を明確にすること(第 82 回)	第 85 回会合にて回答
	設備の安全設計、保安管理体制など設備の安全確保に係る基本方針のうち現状記載がないものについて、実施計画への記載を検討すること(第 85 回)	未回答
	事故進展に必要な分析項目も追加すること(第 72 回)	第 85 回会合にて回答
	構外施設の分析状況について示すこと、また、そこで得られた知見をどのように構内における分析にフィードバックするのかを説明すること(第 79 回)	第 82 回会合にて回答
	分析第 2 棟の分析項目が選定された経緯について詳細を示すこと(第 69 回)	第 72 回会合にて回答

### 3. 固形状の放射性物質に関するコメントへの対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答
廃棄物の保管管理	再利用するものも含め廃棄物中に含まれる核種及びそれらの濃度を分析し性状を把握すること(第 83 回)	未回答
	燃料デブリ、水処理二次廃棄物などインベントリが高い廃棄物の保管管理計画についても今後示すこと(第 83 回)	未回答
ALPS スラリーの安定化処理	ALPS スラリーの安定化処理設備の具体的な設置場所を説明すること(第 73 回)	第 87 回会合にて回答
	スラッジ、スラリーを廃棄体に処理した際の放射能濃度の確定方法について検討すること(第 73、87 回)	第 88 回会合にて回答

	HIC の健全性について定期的に確認し、異常がないことを確認すること。 また、異常が確認された場合の手順を検討しておくこと（第 73 回）	第 87 回会合にて回答
	スラリー安定化設備に係る閉じ込め等の安全設計について、根拠を示した上で考え方を説明するとともに、提出された実施計画変更認可申請において不足している内容については、速やかに補正を提出すること（第 88 回）	未回答
	HIC の照射線量について、2018 年以降のスラリーの状態変化も考慮して評価を行うこと（第 88 回）	第 89 回会合にて回答（継続）
	<u>HIC 内のスラリーが底で固まって取り出すことができない状況になっていないか調査し、HIC 内の状態を示すこと。</u>	未回答
	高濃度のスラリーが保管されている HIC の照射線量等の状態及びそれらに対する対応について説明すること（第 87 回）	第 88 回会合にて回答
	保管する脱水物の状態を定期的に確認する方法を説明すること（第 87 回）	第 88 回会合にて回答
	フィルタープレス装置の想定稼働率及びそれに対する装置の信頼性確保に係る設計上の考慮等について説明すること（第 87 回）	第 88 回会合にて回答
固体廃棄物の再利用	金属の再利用に係る検討状況について説明すること（第 83 回）	未回答
	再利用の用途（屋外か屋内かなど）によって目安線量を定めるなど、再利用に係るロジックを説明すること（第 73 回）	第 83 回会合にて回答

#### 4. 外部事象等への対応に関するコメントへの対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答
地下水流入抑制	各号機の建屋間の連通がなくなっている状況において建屋への地下水の流入量を評価し説明すること（第 81 回）	第 84 回会合にて回答（継続）
	建屋の水位を低下させたときに地下水の建屋流入量の変化を確認し、貫通部の位置など流入量抑制のためのデータを蓄積すること。（第 70 回、第 79 回）	第 74 回、84 回会合にて回答（継続）

	長期的な地下水流入抑制策として、建屋の防水加工について検討すること（第78回）	未回答
	サブドレン水位と建屋地下水流入量の関係性を評価すること（第72回）	第74回会合にて回答
	放射能濃度の高いサブドレン 204 及び海側サブドレンへの対応を示すこと（第69回）	別途面談で対応
	K排水路からの地下水への流入について、今後の調査結果を示すこと（第69回）	別途面談で対応
	1/2号排気筒西側の地盤改良を行う場合はリチャージ Jewel の注水機能を確保すること（第69回）	別途面談で対応
	1/2号排気筒周辺サブドレンのトリチウム濃度が高いことについて、排気筒のドレンサンプ以外に供給源がある可能性についても考慮すること（第69回）	別途面談で対応
	建屋周辺の地下水解析モデルに基づくトリチウム濃度の評価結果について、解析の前提条件を整理すること（第69回）	別途面談で対応
雨水流入抑制	過去の豪雨発生時に、建屋内漏えい検知器の作動と建屋水位上昇が同時に発生し、運転員が対処できなくなったことがあったが、このような事態への対応、体制はどのようなものか（第70回）	第84回会合にて回答
	豪雨に対するリスク対応を説明すること（第70回）	第74回会合にて回答
	豪雨時に 8.5m 盤から流れる水によって 2.5m 盤の地下水水位が 2.5m より高くないことを評価すること（第70回）	第74回会合にて回答
	サブドレン水位計の保守管理をどのように行っているか説明すること（第70回）	第74回会合にて回答
	応急的な雨水流入対策について検討結果を示すこと（第70回）	第74回会合にて回答
	建屋山側のフェーシングについて、リチャージ機能を考慮した実施の可否を検討すること（第70回）	第74回会合にて回答
	雨水浸入解析なども活用した雨水流入対策について全体的な説明をすること（第74回）	別途面談で対応
建屋開口部の閉塞	開口部の閉止から堰などによる水の流出入抑制対	第83回会合に

	策に切り替える箇所について、閉止ができないことによる影響を説明すること（第 81 回）	て回答
	再評価した 3.11 津波が建屋の閉止しきれない箇所から越流した場合のインベントリの流出によるリスクを評価すること。また、越流した場合の汚染水の処理に係る対応について説明すること。（第 83 回会合）	第 87 回会合にて回答（継続）
	海側にあるサブドレン集水タンク等の重量物が津波の漂流物となり止水部に衝突した場合の影響について説明すること（第 81 回）	未回答
	2.5m 盤の汚染された地下水の津波浸水時の流出リスクについて、客観的な根拠を基づき説明すること（第 87 回）	未回答
	開口部の閉塞について、作業を進める優先順位及びその考え方を示すこと（第 77 回、第 80 回）	第 81 回会合にて回答
AREVA スラッジの移送	除染装置スラッジの移送について、当初の計画から遅れが生じることとなった理由を説明すること（第 79 回）	第 80 回会合にて回答
建屋の耐震性	3、4 号機の建屋の耐震性について、建屋の長期的な劣化を考慮した調査及び評価を行い、その結果を示すこと（第 79 回）	第 89 回会合にて回答（継続）

#### 5. 廃炉を進める上で重要なものに対する対応状況

分類	コメント内容	事業者の回答
長期保守管理計画	追加対策の検討フローによる評価において、具体例を示すことや現場の意見も反映して共通理解を得るようにすること（第 74 回）	第 79、84 回会合にて回答
	長期保守管理計画の全体像を示すこと（第 79 回）	第 84 回会合、別途面談等にて回答
組織体制の強化	2020 年度に実施する福島第一廃炉カンパニーの体制強化について、その効果を評価し、今後の検討会において説明すること（第 78、83 回）	第 83、86 回会合にて回答
	令和 2 年第 2 四半期の保安検査において指摘した放射線管理・運転管理・設計管理に係る不適合事象	第 86 回会合にて回答

	<p>について、これまでの不適合事象と共通した要因が背景にあることから改善に係る組織機能の有効性を確認すること。また、当該視点も踏まえて、組織改編の効果を分析すること（第 84 回）</p>	
	<p>不適合事象に係る共通的な要因について、品質管理などに係る根本的な課題がないか踏み込んで分析すること（第 86 回）</p>	<p>第 88 回会合にて回答</p>
	<p>放射線管理部門の人員リソースを強化すること（第 72 回）</p>	<p>第 78 回会合にて回答</p>
<p>1,2 号機排気筒下部の高線量 SGTS 配管等の撤去</p>	<p>今回の線量調査と過去の線量調査の結果が整合しない部分があることから追加の調査を実施し、汚染箇所をしっかりと特定すること。（第 81 回）</p>	<p>第 82、84 回会合にて回答</p>
	<p>間接的な測定、評価手法も用いて、配管内の汚染密度、現場の空間線量率など全体像を把握すること。（第 81 回）</p>	<p>第 82、84 回会合にて回答</p>
	<p>原子力規制庁が用いた測定・分析手法も踏まえた SGTS 配管内部の汚染分布の測定・分析の実施を検討すること（第 82 回）</p>	<p>第 84 回会合にて回答</p>
	<p>配管撤去時の作業管理、撤去後の保管方法などについて今後説明すること。（第 81 回）</p>	<p><u>第 89 回会合にて回答</u></p>
	<p>高線量箇所について遮へい又は撤去すること（第 70 回）</p>	<p>第 79、80、<u>89</u>回会合にて回答</p>
	<p>1/2 号機排気筒の下部の解体計画を示すこと（第 80 回）</p>	<p><u>第 89 回会合にて回答</u></p>
	<p><u>1/2 号機排気筒の下部を解体するにあたって、事故調査に係る情報を保全する必要があることから、切断する位置や方法を検討すること。（第 89 回）</u></p>	<p>未回答</p>

6. その他

分類	コメント内容	事業者の回答
LCO 要件の見直し	1 F の現状を踏まえた LCO を検討し、早期に実施計画に反映すること (第 71 回、第 77 回、第 80 回)	第 77 回、第 81、第 83 回会合にて回答
	2020 年 11 月 12 日に停止した PCV ガス管理システムについて、停止することにより臨界監視機能、安全機能などが失われることの安全上の位置づけについて、窒素封入など関連する機能とともに LCO 要件の見直しの中で検討すること (第 85 回)	未回答
中期的リスクの低減目標マップに係る進捗状況	除染装置スラッジの移送など、取りまとめ次第提示と記載のある項目について、今後、検討状況を説明すること (第 80 回)	第 87 回回答にて回答
社長 7 項目に係る実施計画変更認可申請	他の発電所に係る記載と横並びを取るのではなく、福島第一原子力発電所の特殊性を踏まえ、福島第一原子力発電所の廃炉に取り組む姿勢を反映した記載に全体的に見直すこと (第 86 回)	第 87 回会合にて回答
シールドプラグの汚染	シールドプラグ下面の汚染の調査計画を示すこと (第 87 回会合)	未回答
2 月 13 日の福島県沖地震に係る対応	1 号機及び 3 号機 PCV の水位低下について、追加の漏えい経路を特定するための調査実施の検討など今後の対応について説明すること (第 88 回)	第 89 回会合にて回答
	損傷している各建屋の健全性の評価の実施について、今後の計画を示すこと (第 88 回)	第 89 回会合にて回答 (継続)
	福島県沖地震を踏まえて、同程度の地震動による影響評価を実施するとともに、今後の耐震設計に対する考え方を示すこと。(第 89 回)	未回答